



## 2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社インタートレード 上場取引所 東  
 コード番号 3747 URL <https://www.itrade.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 一也  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務執行役員 (氏名) 小笠原 功二 (TEL) 03-4540-3002  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期第1四半期の連結業績(2023年10月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	498	8.0	40	61.9	△6	—	45	—
2023年9月期第1四半期	461	11.7	24	25.1	△23	—	△27	—

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 43百万円(—%) 2023年9月期第1四半期 △30百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年9月期第1四半期	円 銭 6.31	円 銭 —
2023年9月期第1四半期	△3.89	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	1,763	1,373	77.4
2023年9月期	1,723	1,331	76.5

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 1,364百万円 2023年9月期 1,319百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年9月期	—				
2024年9月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,200	9.4	150	△24.8	12	583.9	8	△78.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年9月期1Q	7,444,800株	2023年9月期	7,444,800株
2024年9月期1Q	259,200株	2023年9月期	259,200株
2024年9月期1Q	7,185,600株	2023年9月期1Q	7,185,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業セグメントは、証券ディーリングシステム、外国為替証拠金取引システム、暗号資産プラットフォーム等の開発及び保守を中心とする「金融ソリューション事業」、ITサポート及びグループ経営管理ソリューションシステムの開発及び販売を中心とする「ビジネスソリューション事業」及び健康食品や化粧品等の開発及び販売を中心とする「ヘルスケア事業」の3つです。

当第1四半期連結会計期間（以下、「当第1四半期」）の当社グループの連結経営成績は次の表のとおりです。

	2023年9月期 (前第1四半期)		2024年9月期 (当第1四半期)		対前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	
売上高	461	100.0	498	100.0	108.0
金融ソリューション事業	368	79.9	411	82.6	111.7
ビジネスソリューション事業	54	11.9	55	11.1	101.1
ヘルスケア事業	38	8.2	31	6.3	82.0
営業利益	24	—	40	—	161.9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27	—	45	—	—

(注) 各事業の売上高は、セグメント間の内部取引を含んでいません。

当第1四半期の業績は、金融ソリューション事業において11.7%の増収となったことにより、連結売上高は前年同期に比べて8.0%増収の498百万円となりました。また損益面においては、営業利益は61.9%増益の40百万円、持分法適用関連会社である株式会社デジタルアセットマーケットツ（以下、「デジタルアセットマーケットツ」）の持分法による投資損失46百万円を計上したことにより経常損失は6百万円、デジタルアセットマーケットツが第三者割当増資を行い、持分変動利益58百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

なお、各事業の売上高には、セグメント間の内部取引を含んでいません。

## (金融ソリューション事業)

金融ソリューション事業は、当社及びデジタルアセットマーケットツの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 411百万円（前年同期比111.7%）  
セグメント利益 139百万円（前年同期比119.6%）

当第1四半期は、外資系証券会社の日本市場参入に伴う新サービスを提供したことにより、売上高は前年同期比111.7%の411百万円となりました。損益面は増収の影響により前年同期比119.6%の139百万円のセグメント利益となりました。

デジタルアセットマーケットツが目指す、web3.0時代の新たな金融プラットフォームの構築に引き続きシステム面で支えていくとともに、証券会社の新たなニーズに応えるべく、新サービスの提供にも努めてまいります。

## (ビジネスソリューション事業)

ビジネスソリューション事業は、当社及び株式会社ビーエス・ジェイの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高 55百万円（前年同期比101.1%）  
セグメント損失 8百万円（前年同期は9百万円のセグメント損失）

SIサービスにおいて、新規取引先へのサービス提供などにより、売上高は前年同期比101.1%の55百万円、損益面においては、前年同期9百万円のセグメント損失から8百万円のセグメント損失と前年同期と同水準で推移しております。

引き続き、継続取引が期待できる既存顧客からのリピート案件や新規顧客獲得に向けて営業活動を行ってまいります。

## (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業は当社及び株式会社インタートレードヘルスケアの事業です。

当第1四半期の経営成績は次のとおりです。

売上高	31百万円	(前年同期比82.0%)
セグメント損失	11百万円	(前年同期は9百万円のセグメント損失)

ハナビラタケ製品のOEMによる売上が前年同期に比べ減少したことにより、売上高は前年同期比82.0%の31百万円の減収となりました。損益面においては、減収の影響で前年同期9百万円のセグメント損失から11百万円のセグメント損失となりました。

継続して機能性表示食品の取得に向けて対応しており、当連結会計年度中に機能性の効果効能を表記した『I Tはなびらたけ』の新製品の販売の準備を進めております。

また、これにより事業規模の拡大を図り、黒字化できるように取り組んでまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産額(負債及び純資産の合計額)は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、1,763百万円となりました。自己資本比率は77.4%、当座比率(当座資産÷流動負債、短期的安全性の指標)は405.4%となっています。

## (資産)

資産合計1,763百万円のうち、現金及び預金が1,083百万円(構成比61.4%)を占めています。

その他の主な資産は、受取手形、売掛金及び契約資産190百万円(構成比10.8%)、棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)35百万円(構成比2.0%)、投資有価証券213百万円(構成比12.1%)となっています。

なお、総資産額が前連結会計年度末に比べ39百万円増加した主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が83百万円減少した一方で、現金及び預金が89百万円増加、投資有価証券が13百万円増加したこと等によるものです。

## (負債)

負債合計389百万円のうち、短期借入金が100百万円(負債及び純資産合計に対する構成比5.7%)、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金計81百万円(同構成比4.6%)、買掛金が59百万円(同構成比3.4%)となっています。

なお、負債合計が前連結会計年度末に比べ2百万円減少した主な要因は、契約負債が11百万円増加した一方で、買掛金が24百万円減少したこと等によるものです。

## (純資産)

純資産合計1,373百万円の内訳は、資本金1,478百万円、資本剰余金996百万円、利益剰余金△1,015百万円、自己株式△95百万円、非支配株主持分9百万円となっています。

なお、前連結会計年度末の純資産合計1,331百万円より42百万円増加しており、その主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加45百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは金融市場の動向の影響を受ける事業環境にありますが、現時点では2023年9月期決算短信記載の連結業績予想で想定したとおりに進捗しており、連結業績予想の変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	994,380	1,083,661
受取手形、売掛金及び契約資産	273,544	190,379
商品及び製品	10,416	9,853
仕掛品	14,603	21,306
原材料及び貯蔵品	4,407	4,660
その他	58,167	62,329
貸倒引当金	△246	△246
流動資産合計	1,355,272	1,371,944
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,758	6,101
工具、器具及び備品（純額）	16,305	27,920
リース資産（純額）	10,620	8,636
有形固定資産合計	30,684	42,659
無形固定資産		
ソフトウェア	3,640	3,144
その他	364	364
無形固定資産合計	4,005	3,508
投資その他の資産		
投資有価証券	199,602	213,134
繰延税金資産	6,570	5,938
敷金及び保証金	124,370	123,370
その他	15,267	14,919
貸倒引当金	△11,851	△11,851
投資その他の資産合計	333,959	345,511
固定資産合計	368,648	391,679
資産合計	1,723,920	1,763,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	84,446	59,858
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	20,040	20,040
リース債務	6,313	5,488
未払法人税等	20,612	13,715
契約負債	18,001	29,245
その他	61,322	85,916
流動負債合計	310,737	314,263
固定負債		
長期借入金	66,600	61,590
リース債務	5,639	4,250
退職給付に係る負債	9,684	9,817
その他	33	-
固定負債合計	81,956	75,658
負債合計	392,694	389,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,433	1,478,433
資本剰余金	996,567	996,567
利益剰余金	△1,060,799	△1,015,423
自己株式	△95,031	△95,031
株主資本合計	1,319,170	1,364,546
新株予約権	697	-
非支配株主持分	11,359	9,155
純資産合計	1,331,226	1,373,701
負債純資産合計	1,723,920	1,763,623

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	461,474	498,325
売上原価	311,192	313,215
売上総利益	150,281	185,110
販売費及び一般管理費	125,546	145,061
営業利益	24,734	40,048
営業外収益		
雑収入	125	146
営業外収益合計	125	146
営業外費用		
支払利息	340	384
持分法による投資損失	48,350	46,748
その他	0	46
営業外費用合計	48,691	47,179
経常損失(△)	△23,831	△6,984
特別利益		
持分変動利益	-	58,216
新株予約権戻入益	45	697
特別利益合計	45	58,913
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,786	51,928
法人税、住民税及び事業税	5,864	8,124
法人税等調整額	515	632
法人税等合計	6,379	8,756
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,166	43,172
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,197	△2,203
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,968	45,375



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,166	43,172
四半期包括利益	△30,166	43,172
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,968	45,375
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,197	△2,203

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	368,602	54,655	38,216	461,474	—	461,474
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	1	1	△1	—
計	368,602	54,655	38,218	461,475	△1	461,474
セグメント利益又は損失 (△)	116,701	△9,194	△9,141	98,366	△73,631	24,734

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△73,631千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	金融ソリューション事業	ビジネスソリューション事業	ヘルスケア事業			
売上高						
外部顧客への売上高	411,729	55,260	31,335	498,325	—	498,325
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	12	12	△12	—
計	411,729	55,260	31,348	498,338	△12	498,325
セグメント利益又は損失 (△)	139,532	△8,158	△11,223	120,149	△80,101	40,048

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,101千円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。